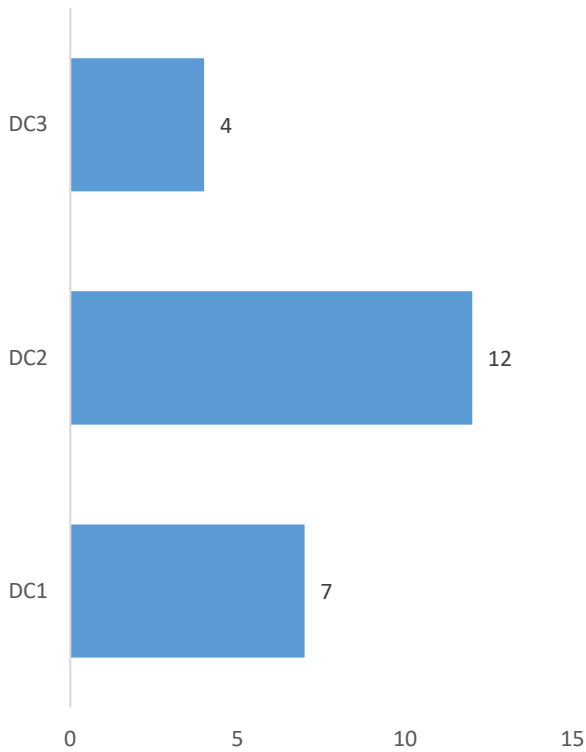


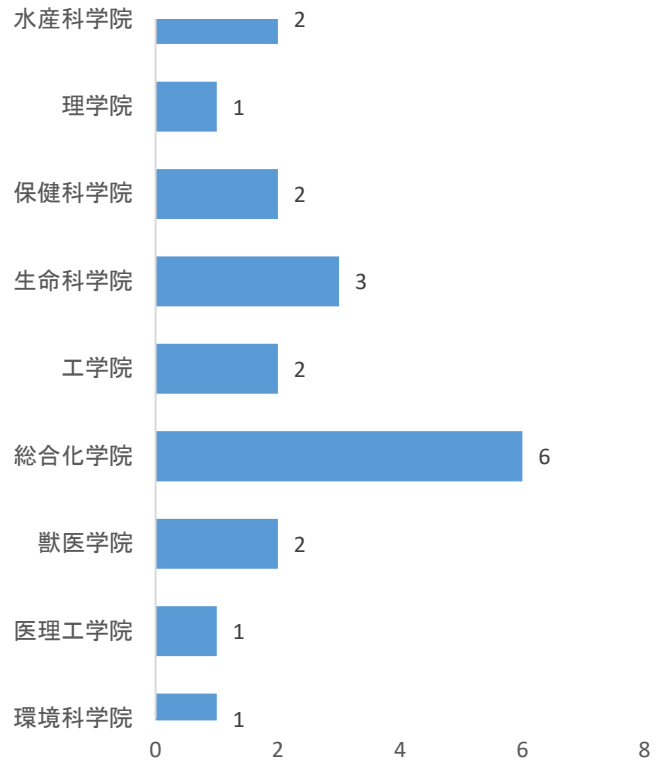
# 第57回 (R6第3回) 赤い糸会 (ONLINE) アンケート

[1] 回答者：博士人材17名・企業12名 (参加者：博士人材23名・企業12社)

### 博士人材学年

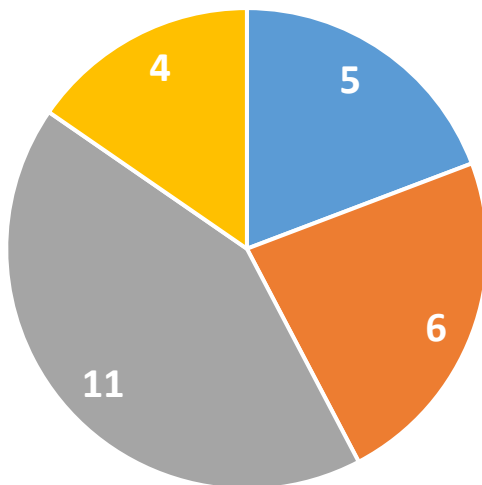


### 博士人材所属



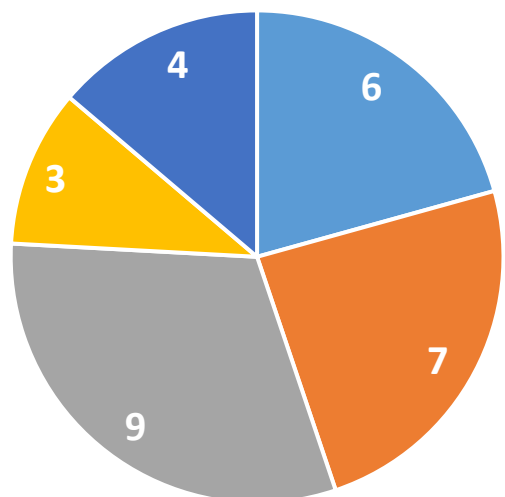
## [2] 博士人材プレゼンテーション

### アピールできた点(博士人材)



- プレゼン技法
- 専門性
- 人物・個性・特徴
- パワーポイント・資料作成能力

### 注目する点(企業)

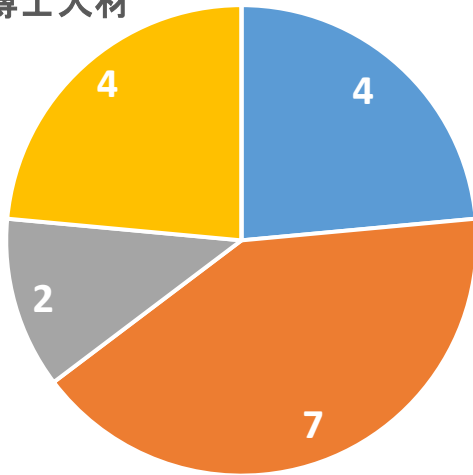


- プレゼン技法
- 専門性
- 人物・個性・特徴
- パワーポイント・資料作成能力
- その他

### [3] 企業／博士人材とコンタクトがとれましたか？

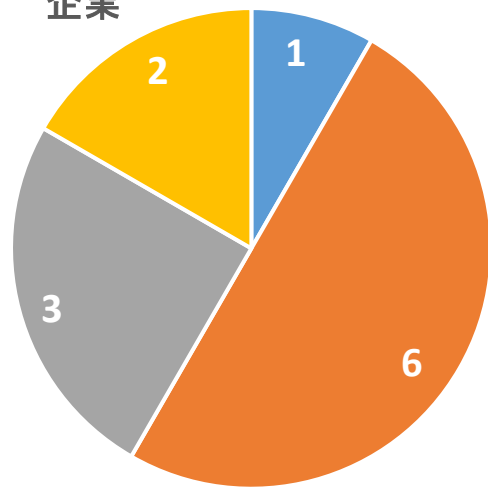
#### ■連絡先一覧を使用してのコンタクトについて

##### 博士人材



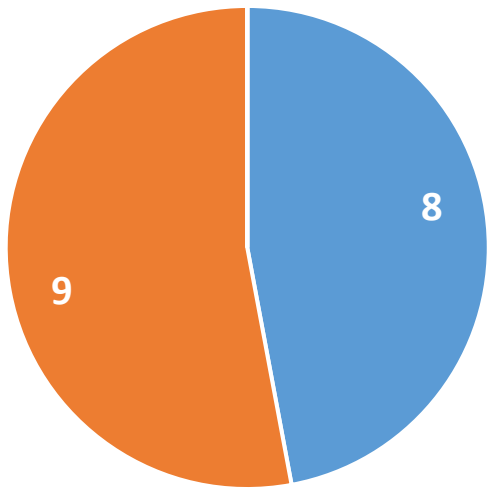
- 十分コンタクトがとれた
- ある程度はコンタクトがとれた
- あまりコンタクトがとれなかった
- 全くコンタクトがとれなかった
- その他

##### 企業



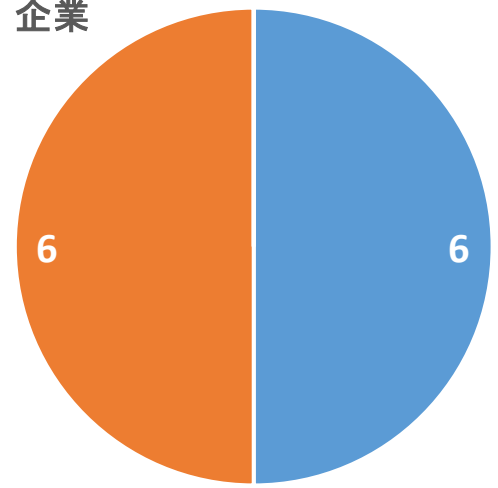
#### ■Zoom(企業ルーム交流会)でのコンタクトについて

##### 博士人材



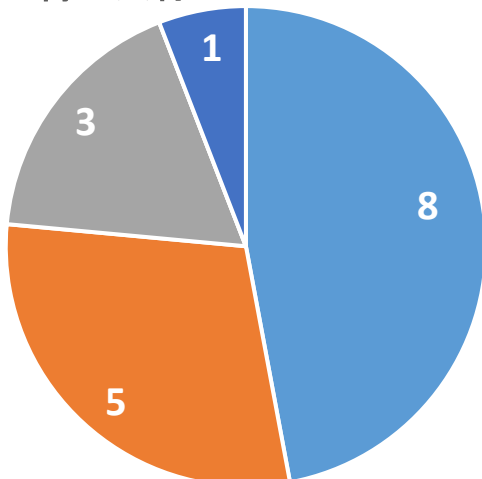
- 十分コンタクトがとれた
- ある程度はコンタクトがとれた
- あまりコンタクトがとれなかった
- 全くコンタクトがとれなかった
- その他

##### 企業



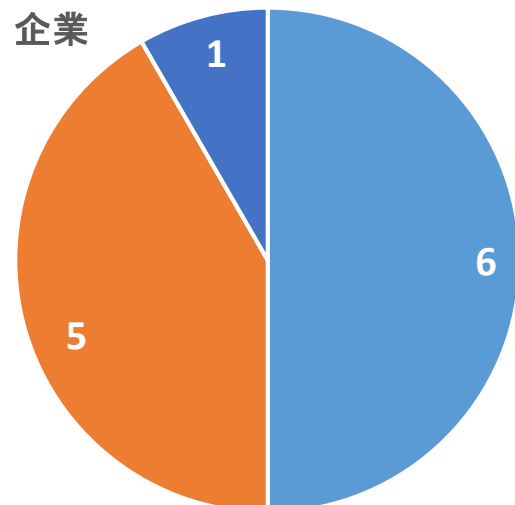
#### ■SpatialChat(懇親会)でのコンタクトについて

##### 博士人材



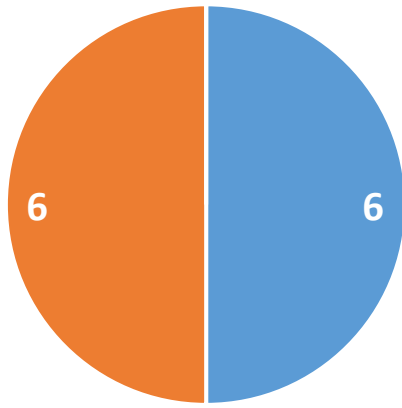
- 十分コンタクトがとれた
- ある程度はコンタクトがとれた
- あまりコンタクトがとれなかった
- 全くコンタクトがとれなかった
- 不参加

##### 企業



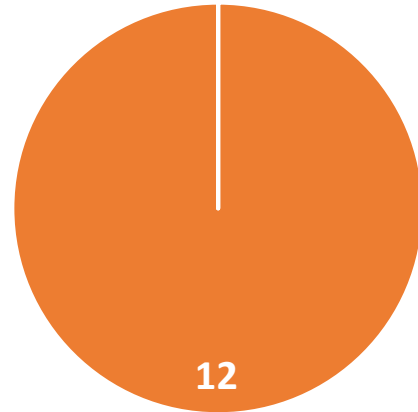
## [4] 企業のみ

### 参加博士人材について



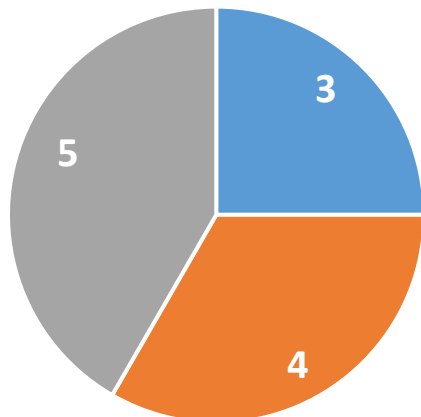
- 1. 欲しい分野の博士人材に会えた
- 2. 意外な分野の博士人材に出会えた
- 3. どちらでもない

### 参加博士人材に対する今後の対応をお聞かせください。



- 1. 採用したい博士人材がいたので、今後交渉を進めたい
- 2. 採用については未定だが、今後もコンタクトを取りたい博士人材がいた
- 3. コンタクトを取りたい博士人材はいない

### DC・PDのインターンシップ(1か月位)について



- 1. 受け入れを表明している
- 2. 受け入れてもよい
- 3. 受け入れは難しい

「3.受け入れは難しい」を選択された方：  
差し支えなければ、理由をお教えてください。

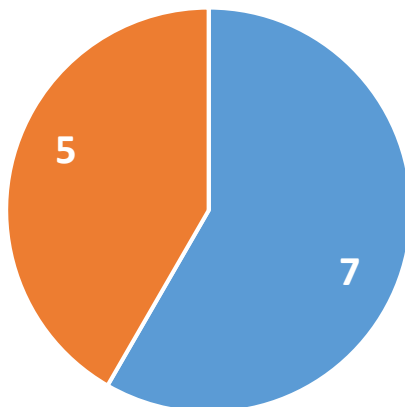
現在会社として仕事体験は開催しているが、長期インターンシップは実施していないため。私たち受け入れ側の体制が整っていないため。

1day、5daysでの仕事体験イベントは開催予定ですが1か月以上のものは企画していません。

設立して間もない会社のためインターンシップの準備ができていない部分が大きいです。ただご希望があった場合は学生と相談させていただきます。

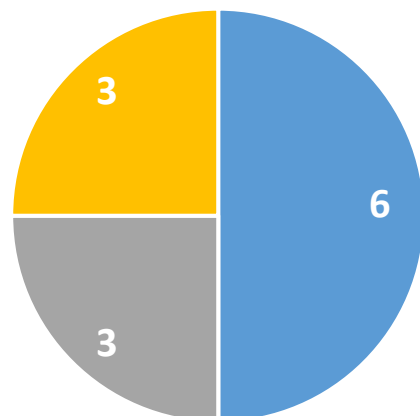
現時点では受け入れ部門となる研究開発が多忙で長期間の受け入れが難しいため

### DC採用について



- 1. 定期的に採用したい
- 2. 時期に関わらず、採用したい
- 3. 採用については未定

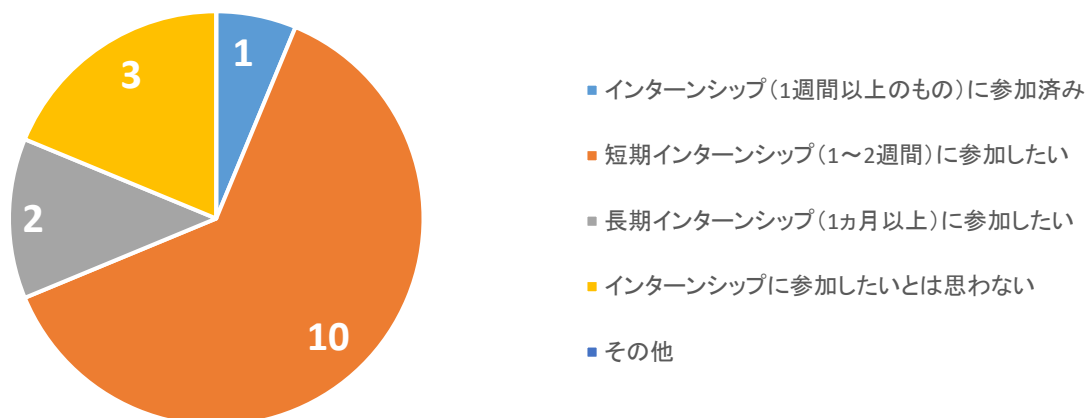
### Hi-System(博士人材と企業の双方向ネットワーク)はどのように利用していますか？



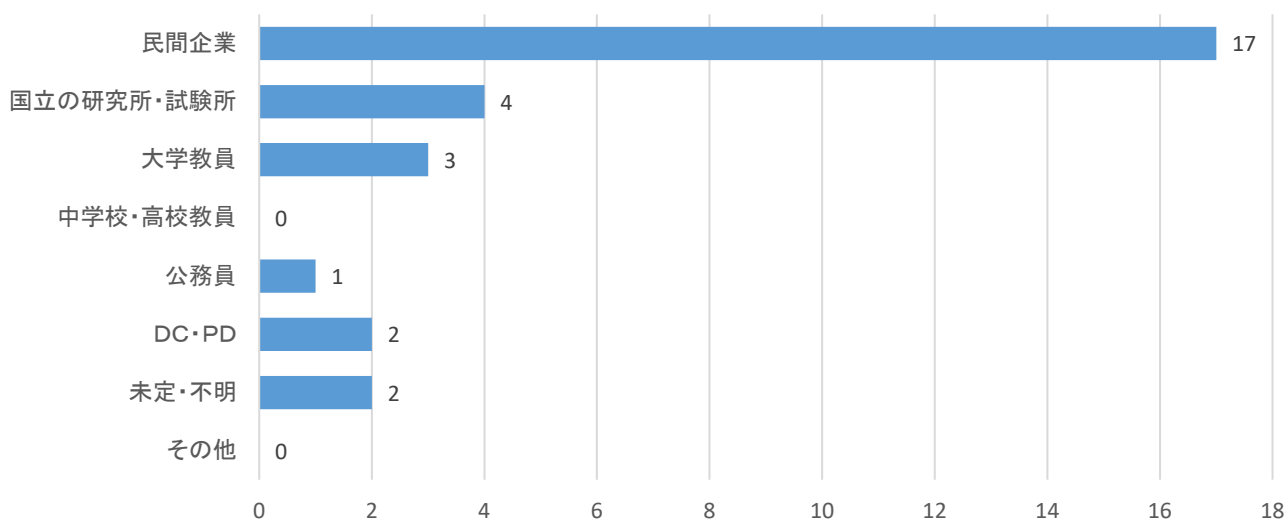
- 1. イベント参加
- 2. コミュニティ
- 3. 博士人材検索
- 4. 利用していない

## [5] 博士人材のみ

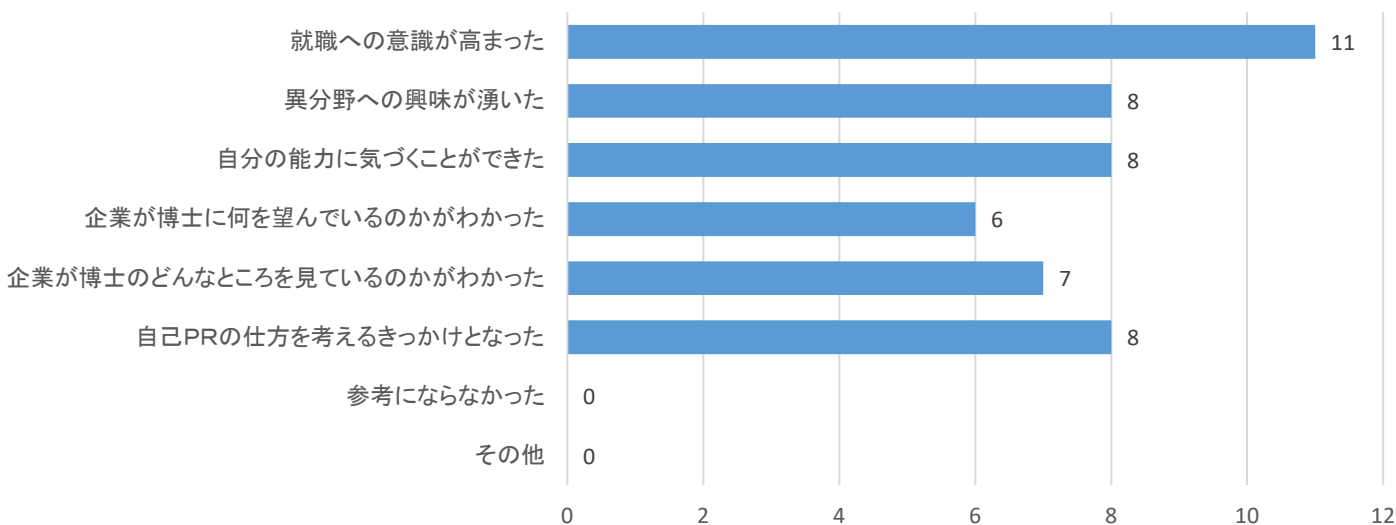
本会参加の企業に限らず、インターンシップに参加したいと思いますか。



あなたは、今後のキャリアパスをどのように考えていますか？（複数回答可）



「赤い糸ONLINE」は、進路決定の参考になりましたか？（複数回答可）

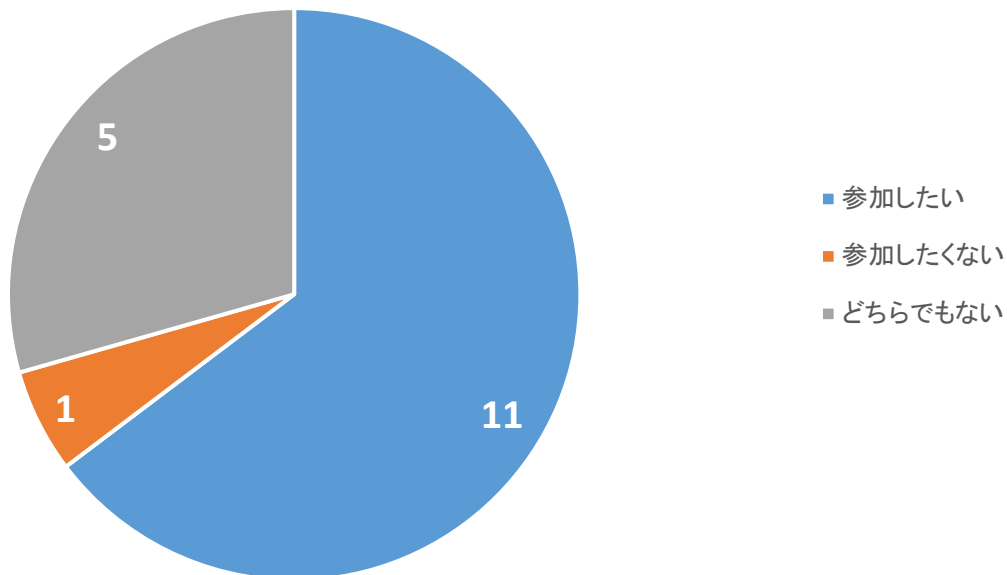


[6] 「赤い糸ONLINE」に参加して新たな気づきはありましたか。  
それはどのようなことですか。（博士人材のみ）

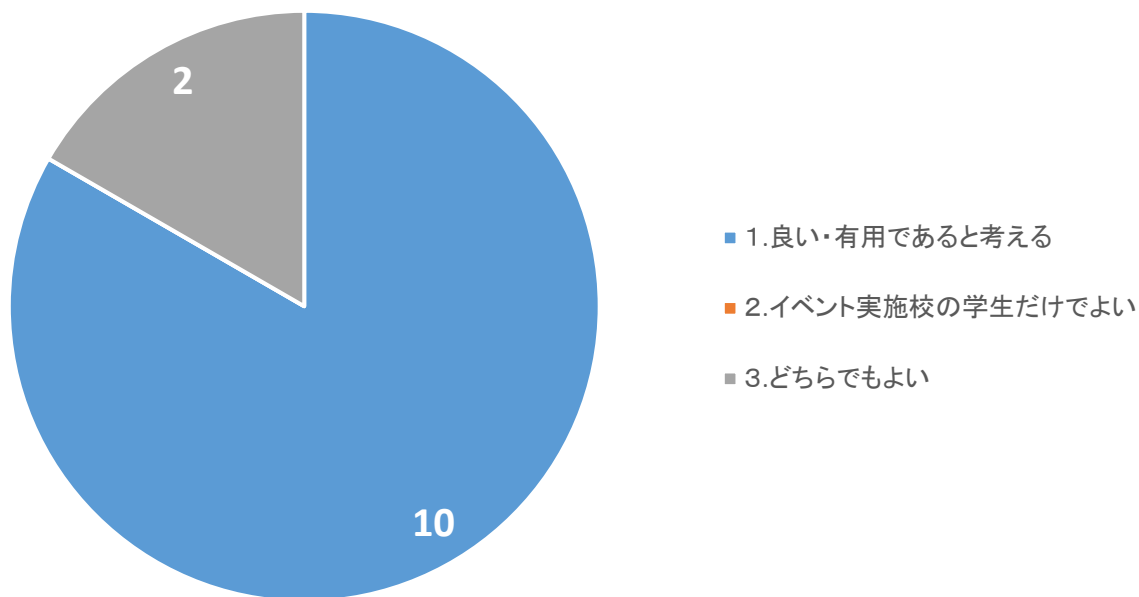
1	自分の専門性は狭いと考えていたが、考え方・捉え方次第で活かせる幅が広がったこと。
2	オンラインも対面もそれぞれの良さがある。参加企業の幅広さが良いと感じた。
3	赤い糸会終了後、コンタクトを取りたいと感じました。 一方で、どのように連絡をすればよいのでしょうか？
4	働けるフィールドが沢山あること
5	文系の博士後期課程の学生は珍しいと思われること。 コンサルティングでも、それぞれの企業に特色があること。
6	自分の活躍できそうな分野の幅が広がった。 より広い視野で就活ができそうだと感じた。
7	新たな気づきはありませんでしたが、直接話を伺うことの重要性は再確認しました。
8	私の能力に気づいてくれる会社があるということ(自分の研究力に自信がついた)
9	自分の就職に対する考えがまとまった
10	自分のプレゼン能力に気づきました。
11	企業が博士人材に求めることとして、専門性よりも研究遂行能力や思考力を重視していることがわかりました。
12	自分は異分野にたいぶ興味があることに気づいた。
13	回によって企業の方の関心が異なること
14	自身の研究が、どのような分野で必要とされる可能性があるか考えることができる機会だった
15	ベーリンガーインゲルハイム社全体から見た、ベーリンガーインゲルハイム「ジャパン」の役割や位置づけを理解することができた。
16	企業ごとに説明に力を入れるスライドを変えるべきだった
17	私の研究での自然言語処理の手法をもっと進化させて行けば就職の可能性に繋がるかもとの気づきがありました

[7] 東北大学・名古屋大学・北海道大学におけるコンソーシアム（全13大学）の取組みで、本会のような各大学マッチングイベントに連携大学の学生が参加可能なことについて

博士人材



企業



コンソーシアム(全13大学)の取組みについてご意見がございましたらお聞かせください。

今後も機会がありましたら、ぜひ参加させていただければと思います。

## [8] 今後、博士人材へ期待すること・要望など（企業のみ）

1	積極的な研究開発への挑戦意識を持っている方
2	高い専門性と研究力
3	研究をやり切ること。自分が向き合う課題に対して自分の責任で答えを与えきり、研究成果に対して十分な責任を持つこと
4	説明や対話力がより向上するとうれしい。
5	自身で研究テーマを立案し、論文や世界初の成果などを創出することを期待しています。
6	英語力やグローバルで働くことへの興味、専攻外のことを学ぶことへの意欲
7	当社は博士人材、ポスドク人材を積極採用しています。学生側からも積極的に企業側へコンタクトするよう、仕組みづくりや働きかけ頂けるとありがたいです。
8	異分野への就職でも、これまで研究を進めてきた中で鍛えられたロジカルシンキング、チームワーク、ディスカッションスキルが十分に活かせると思うので、視野を広げて見てほしいです。
9	研究で培った問題解決能力や突破力は武器になりますので、ぜひ社会でも活かしていただければと思います。
10	様々な可能性を考え、日本の産業発展を牽引する人材として活躍してほしいと願っています！
11	博士課程で培った専門性や、ビジネスパーソンとしても活かせるスキルを存分に発揮して、幅広いフィールドで活躍されることを期待しています。
12	自身の研究内容以外の分野についても、視野を広げて興味を持っていただき、様々な研究内容との融合を検討していただきたい。

## [9] 全体を通して、「赤い糸会」（赤い糸ONLINE）についての意見、要望など

### 博士人材

1	非常にいい機会でした。就活に対するモチベーションも上がりましたし、企業の方とお話をする機会は貴重なため参加してよかったです。
2	特にありません。貴重な機会をありがとうございます。
3	道内企業限定の「赤い糸会」に近いイベントがあると、就職活動の参考になります。
4	大変勉強になりました。来年もぜひ参加したいです。
5	非常に有意義なイベントだと思います。これまで3回参加しましたが、そのすべてで、赤い糸会経由で入社した人がいて、しっかりと機能しているんだと改めて感じました。
6	強いて申しあげるなら、休憩時間がわかりやすいように表記していただきたいかったです。
7	博士プレゼンの時間があと2分程欲しかった
8	企業と交流する時間を少し増加したらいいと思います。
9	できる限り近い業界の企業が集まると話す側・聞く側どちらも進行しやすいのではないかと思います。
10	博士の学生は赤い糸会に何回も参加した方がよい。毎回参加するたびに新たな気づきがある。
11	企業就職をあまり考えていなかった自分にとって、実際の企業の方と話せる非常にいい機会だった。いろいろな選択肢があることが知れたので、進路についてもっと悩むべきだと感じた。
12	今回は特に日経BP様との交流が新鮮で印象的でした。以前のように製薬企業がメインというわけではない中で、自分の活躍の可能性を違う視点で考えられたと感じます。
13	気になっていた企業について深く知る機会となりとても満足しています
14	全体的に時間がやや長かったかもしれませんが、zoomの頃はもっと深く話すことが出来ればいいと思います。



## 企業

1	とても能動的な学生が多い印象を受けました。
2	多くの人材との交流ができ貴重な機会でした。
3	多様な専門性の学生様と交流、意見交換、会社紹介ができてとても良かったです。
4	時間厳守や回転率は必要だと思いますが、少し忙しい感じでゆとりがあるとよかった。対面開催もあったほうがよい
5	最初はオンラインなので、うまく交流できるかどうか不安でしたが、しっかりと運営されており多くの博士人材と交流できました。ただ、オンラインだと学生さんの印象が残りにくいので、対面で交流できると良いと思いました。
6	学生の方もこのイベントにコミットしており(途中離脱などなしで、学生の方からも発表あり)、企業側としても学生の方をよく知る、そして企業のことを知ってもらえる意義のある機会であったと感じた
7	時間配分が短いと思った点ではありますが、それをカバーできる後半の交流会の仕組みなどがあり、よくスケジュールを考えられていると思いました。長時間で大変ではありますが、適宜休憩をはさんで頂いたのも良かったと思います。ありがとうございました。
8	zoomのブレイクアウトルームへの移動がスムーズだったのと、学生さんが質問を用意してくださっているのが良かったです。今回は講義等で既に当社を知っている方が多めでしたが、このイベントをきっかけに当社を知って興味を持ってほしい思いもあるため、各社3分程度でも企業側のプレゼンパートがあるとより良いと思います。企業ルーム訪問で会社説明に時間を割いてしまい申し訳なかったです。
9	この度はお招きいただき誠にありがとうございました。事前に弊社の動画や資料を見てくださった学生さんとお話しできたりと素敵な機会をいただきました。弊社の大川も今回参加したのですが、過去に博士を卒業しポスドクをしていた経歴があったため多くの学生さんにご質問をいただきました。もし機会がありましたら今後ともよろしく願いいたします。
10	忙しい1日でしたがとても有意義な時間でした。ありがとうございました。
11	意欲的でコミュニケーション力の高い学生さんが多く、各回程よい人数としっかり交流することができました。貴重な機会をいただきありがとうございました。
12	事前のプレゼン練習を実施していただいているため、学生のプレゼン能力がとても高いと感じております。会社に入ると営業や企画職との連携も必要となるため、自分の研究内容や保有技術をわかりやすく他者に伝える力が重要です。赤い糸会に参加している学生は、そのスキルを習得しているため、とても必要な人材だと考えております。

### [10] J-window (先端人材育成センター 担当教員との面談、エントリーシート などの添削、面接練習)の利用について

